

令和5年度第1回図書館協議会（議事録要旨）

日時 令和5年7月6日(木) 午後2時～

場所 豊明市立図書館会議室

出席 委員（9名）土居、柴田、橋本、近藤、野々山、柴田(初)、杉原、鈴木、石垣
教育部長、事務局（3名）

議題

- (1) 令和4年度事業報告について
資料1「令和4年度実績報告書」に基づき説明。
- (2) 令和5年度事業計画について
資料2「令和5年度図書館事業計画」に基づき説明。
- (5) その他
 - ・南部公民館工事について
 - ・図書館工事について

質疑応答等

(1) 令和4年度事業報告について 資料1

委員長：クラウドファンディングはどのくらい申し込みがあったか。

事務局：令和4年度実績138件、1,534,000円。目標200万円に対し76.7%の達成率。

委員長：12月31日の期限を延ばしていたら、200万円に達成したのでは。

事務局：クラウドファンディングは3ヶ月枠で、年度をまたぐと納税が翌年度になるため年内でとの要望が多く、12月31日で切らせていただいた。

副委員長：「シニアのためのおはなし会」は、どんな作品でどんな感じの反響だったか。

委員：図書館での開催は初めてだったが、阿野地区の老人クラブに10年位毎年呼んでいただき、そこで好評だったもの等を中心に行った。他に小学校で読んでいる本から1番受けが良かった「落語絵本」という落語を題材にした本や、懐かしい昭和についてのものを選んだ。来た方にはおおむね好評だった。

委員長：いくつになっても昔話などの話を読み聞かせで聞くことは喜ばれる。

委員：発信のいい方法があれば。今の若い人達は広報をあまり目にしない。広報に情報が載っていても、私達は見るが、若い人達は見ていなくて、どこに載ってましたっていうことがすごく多くて、もったいないと思う。

委員長：老人クラブの会議などでPRをしてはどうか。あと、カラットは小さい子ども連れの若いママ達が良く利用しているので、ポスターを掲示しては。良い事業をしても、集客がなければ学ぶことはできない。

(2) 令和5年度事業計画について 資料2

委員：今年の図書館フェア等は工事の関係か、去年はクイズラリーや豊明高等学校イラストレーション部のしおり作りとかたくさんあったが、予定表を見ると入っていない。今年をあえて人が集まるものはやらないのか。

事務局：今年に工事では駐車場が無く、平日の催物はほぼできない状態になっている。土日にできる行事を残してやる形にした。

委員：事業計画の夏休み期間中のイベントについて、今年に工事があり仕方がないが、少ないと思う。例えば子どもの読書会や子どものビブリオバトル、読書感想文の書き方講座等、もっと子ども達に来てもらえ、子ども達の勉強や読書の機会を増やすイベントを来年以降計画してほしい。

(3) その他

・南部公民館工事について（説明）

現在リニューアル工事中。6月5日から工事に入り、完了予定は12月15日。そこから新しい本棚搬入等の準備を行うため、開室は早くても1月に入ってからになると思う。閉室中だが、予約本受け取りと本の返却は受け付けている。

・図書館工事について（説明）

今年度、図書館は外壁修繕工事とトイレ洋式化工事を実施予定。外壁は今月下旬から工事予定で、11月末に終了予定。トイレ工事は9月～2月予定。12月4日～2月16日の間は駐車場の制限と利用者と生徒の安全確保のため、図書館を閉館することとなった。当初は開館したまま工事を進める予定だったが、駐車場の確保ができないこと、仮設トイレ設置も消防法規定で建物から一定距離離して設置することになるため、駐車場内での市民の安全確保が難しい。豊明中学校の駐車場も、生徒が一般車との接触の危険性や、門の開放は防犯上難しい。閉館中は南部同様、予約本受渡しと返却をやる予定。それ以外にもおたのしみ袋など、閉館中に何かできることはないかを考え中。

質疑・応答

委員長：南部リニューアルが1月中旬になると、1ヶ月強位まったく図書館機能がなくなるので、閉館閉室を逆手に取ってポジティブに考え、趣向を凝らしたおたのしみ袋もとても良いアイデアだと思う。市民から愛される図書館を目指し試行錯誤して工夫を凝らしていけば、この期間が良い時間になると思う。

委員：この期間閉館になると学習室に来る学生達はどうするのか。この受験期の競争率はすごい。カラットの部屋を図書館が依頼して確保するとか。カラットは小さい子ども連れの若いお母さん達がすごくたくさん来ており、閉館中は

カラットで読み聞かせをする場所を確保してほしい。3ヶ月もあるので、カラットで何か企画を考えては。

教育部長：南部公民館改修工事で学習スペース室を広げる。時期はずれるが、1月下旬位から使える。カラットを使う人も増えている。言われるように、なるべくカラットで調整できるよう話していこうと思う。

委員長：自分の部屋を持ってない学生も多い。南部にも学習室をと要望していた。なかなか家だと勉強にならない、南部公民館だと、自宅に帰る前にそこで宿題や勉強をして家に帰る形になれば、子ども達もモチベーションが高くなるのでは。また皆頑張っている自分だけが辛いんじゃないと切磋琢磨している所をみられることが助けになると思う。

委員：カラットを利用するのはいいと思う。部屋は市から依頼すると無料になる可能性があるので、ぜひその期間カラットの1部屋を使い読み聞かせなどを。

事務局：読み聞かせは、4月からカラット内の子育て支援センターたけのこで始めたところで、図書館ボランティアおはなし隊の希望者で行っている。

委員長：なるべく空白時間も試行錯誤してカラットを代用する等、なにか検討を。

・その他

事務局：展示室でおはなし会を行う1番大きな問題は音。設計上、展示室の横に階段があり上に声が昇る。1番声が届くのが学習室。学習している人から普段の会話でも窓口に苦情がくる状態のため、防音設備工事が必要。展示については検討できるが、防音や部屋の改修はかなり難しい。

委員長：これであきらめるのではなく、また違う方向から実現できないか考えていけたらと思う。

委員：以前読み聞かせを始めた頃は、何年間か会議室でやっていたが。

事務局：当時はドアが閉め切れた。今はコロナ関係でドアを開けており声が漏れる。

委員：コロナ収束に伴いもう少し時間が経てば、会議室に戻る事が可能か。

事務局：はい。会議室でという意見もあり、移ることは検討の余地がある。

クラウドファンディングを今年度も行う。期間は10月～12月、目標金額200万円の予定。豊明市民は返礼品がないが、協力いただきたい。